

<紹介> 邑南町スポーツ推進委員協議会:「くるみ邑美園」との交流事業

- 1 日時 平成28年12月13日(火)13:00~
- 2 会場 くるみ邑美園体育館
- 3 参加者 約100名
・邑南町スポーツ推進委員協議会:10名 ※うち事務局(邑南町教委2名)
・浜田教育事務所社会教育スタッフ:佐々木企画幹
・くるみ邑美園利用者(石見養護学校の児童・生徒を含む)及び職員約90名
- 4 内容 くるみ邑美園クリスマス会のプログラムの一つとして
(1)PPAPダンス披露
(2)ラジオ体操広島弁バージョン
(3)キンボールを使っのボール送り
(4)推進委員インタビュー

- ・クリスマス会に合わせた内容の吟味、グッズの準備
- ・交流会に向けてのスポーツ推進委員の打合せ時間の確保(話し合い・練習・役割分担)



施設利用者 → 生き生きとした表情、体を動かすことの心地よさ
スポーツ推進委員 → 交流会の参加をきっかけに今後の活動意欲向上



普段の施設生活の中では、ほとんど外部の人と関わることがないので、今日のような外部の人との交流は貴重な機会です。利用者によってよい刺激となりました。

施設職員の声

利用者がノリノリで踊ったり体操したりしてくれてよかったです。障がい児とどのように関わっていけばよいかという実態等確認した上で、より積極的に触れ合っていきたいです。

キンボールを送るのに、自分たちがどこまで補助すればいいのか分かりませんでした。ボールの代わりに風船を使っても何かできるのではないかと思います。

スポーツ推進委員の声

1人1人の実態や状況が違うことを考慮して交流していく必要があります。今後、赤いジャージの人たちということで定期的にスポーツ・レクリエーションを通じた交流機会を設けるといいと思いました。

今回は今後の交流に向けてのきっかけづくりの場でした。

事務局としては、行政が「～してください。」という形式ではなく、スポーツ推進委員のもつ課題意識を全員で共有し、自分たちで企画したり運営したりできるようになることを念頭に事業を行ってまいります。県としても、他の市町村の状況を把握しながら、こういった取組の普及啓発を図っていく必要があります。